

令和4年12月20日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

豊川市制施行80周年記念事業が始まります ～ もっと 元気なとよかわ を目指して ～

豊川市は、令和5年6月1日に市制施行80周年を迎えます。80周年は人間で言えば、傘寿（さんじゅ）という記念すべき年であり、新たな歴史を刻む大切な節目となります。東三河で唯一人口が増加している「元気なとよかわ」が未来へ向かって、さらに飛躍・発展するために、市民や関係機関、各種団体、企業の皆様と一緒に80周年を盛り上げるさまざまな記念事業を来年から実施します。



もっと、ずっと、豊川。

～もっと 元気なとよかわを 目指して～

1 実施計画書

別添「豊川市制施行80周年記念事業のご案内（実施計画書〔第1版〕）」のとおり

(1) 事業期間

令和5年1月から令和6年3月まで

(2) 記念事業の全体像

「記念式典」、「市民参加事業」、「PR事業」の3つに分類

(3) 記念事業とSDGs

記念事業の方向性は、SDGsの17のゴールとそれぞれに重なることから、全ての記念事業をSDGsの実現に向けた取組として位置づけます。

(4) 記念事業の内容

市主催等事業と関係機関、各種団体などが主体となって実施する協賛事業の全体で103の事業を記念事業として位置づけ、以下6つに掲げる事業に整理します。

① とよかわ大好き事業

・豊川市の魅力発信につながるような事業

② 主役へ！子ども・若者事業

・将来を担う子ども・若者に参加いただき、豊川市への愛着がさらに深まるような事業

③ いやしとふれあい事業

・豊川市の幅広い世代の人々にいやしとふれあいの場をもたらすような事業

④ 元気わかちあい事業

・豊川市の人とまちの元気をわかちあい、受け継いでいけるような事業

⑤ SDGsでつなげよう事業

・SDGsを踏まえた持続可能な豊川市のまちづくりを次代につなげていくような事業

⑥ 寄附事業

・豊川市の飛躍と発展を期待いただく各種団体、企業の皆様からの寄附事業

2 記念キャッチフレーズについて

「もっと元気なとよかわ」をテーマに募集したところ、556作品の応募があり、市民会議における審査を通過した3点の中から最優秀賞作品を選ぶ市民投票を実施しました。その結果、キャッチフレーズは「もっと、ずっと、豊川。」に決まりました。

このキャッチフレーズは、ポスターなどによる啓発や記念事業に幅広く使用します。

(1) 投票期間

令和4年11月16日から令和4年12月9日まで（24日間）

(2) 投票者数

14,013人（うち白票等／51票）

(3) 投票結果

1位 最優秀賞 5,636票 「もっと、ずっと、豊川。」

受賞者：西部中学校1年 相川 友海さん

2位 優秀賞 5,242票 「おいでん。豊川。主役は、君だ。」

受賞者：代田中学校3年 小椋 太晴さん

3位 優秀賞 3,084票 「ほっと ずっと とよかわ」

受賞者：会社員 神谷 千絵さん

(4) ロゴについて

多くの方に親しみを持っていただけるよう、記念キャッチフレーズと一体になった記念ロゴを作成しました。背景の丸いデザインには「豊川(とよがわ)の豊かな川の流れ」、「心豊かでやさしさに満ちた豊川市民の姿」、「終わりなく続く豊川市の繁栄」の3つのイメージを重ねています。

多くの記念事業で活用いただけるよう、キャッチフレーズをアーチ形に配置した正方形のものと、キャッチフレーズを横に配置した長方形の2パターン用意しました。

【アーチ型】



【横型】



もっと、ずっと、豊川。

～もっと 元気なとよかわを 目指して～

3 記念キャッチフレーズ表彰式について

市民投票を行った3作品について、賞状及び賞金を贈呈する表彰式を実施します。

(1) 日時

令和4年12月26日(月) 午後3時30分から

(2) 場所

豊川市役所(豊川市諏訪1-1) 本庁舎2階 市長室

市ホームページ
(12/20 13時公開)



◇お問い合わせ先

豊川市役所企画政策課(担当 岩本、細井)

電話0533-89-2126(直通)

メール kikaku@city.toyokawa.lg.jp